

【競技種目：卓球】 結城市

キャッチフレーズ	みどりと歴史の いきいき文化創造都市・結城		
面積	65.84 k m ²	人口	53,209 人 (H14. 3. 1 現在)
特産品	結城紬 桐箆笄 桐下駄 桐工芸 繭工芸 (以上工芸品) 干瓢 落花生 味噌 うどん 地酒 レタス トマト ゆでまんじゅう		
<p>【我が町自慢】 鬼怒川の勇壮な流れを東の境に、西を栃木県と接する結城市は、JR 水戸線、国道 50 号線が走る北部に中心市街地を持ち、南部におおらかな田園が広がる、南北に長いまちです。 豊かな自然に恵まれた鬼怒川のほとりで、木綿(ゆう)の木が生い茂ることから結城の名がおこったと伝えられています。 結城は、中世鎌倉時代から栄えた城下町で、今でも城下町特有のカギ型や T 字路の道路、蔵造りの街並み、結城家ゆかりの神社仏閣が多く、風情と懐かしさのただよまちです。 結城の名を全国に知らしめているのが「結城紬」で、その歴史は古く、奈良時代から受け継がれ、絹織物ではわが国唯一の重要無形文化財に指定され、現在もその工程のすべてが手作業で行われています。軽く、温かく、着るほどに、洗うほどに風合いが深まって「親子 3 代は着られる」とも言われます。 また、桐下駄、桐たんすの産地でもあります。 市内には、結城紬の製作工程やはた織りの実演が見られる資料館や、コースター・テーブルクロスが織れるはた織りの体験施設、藍染めや草木染めができる体験施設などもあり、幅広い年代の観光客が訪れています。</p>			
<p>【文化・観光施設の紹介】</p>			
<p>名称: 紬のふる里結城まつり</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 場所 結城市公民館とその周辺 ■ 問い合わせ先の電話番号 0296-32-1111 結城市商工観光課 ■ 期日 毎年 11 月の第一土・日の 2 日間 <p>全国的に名の知れた重要無形文化財「結城紬」をメインにしたまつりです。 結城紬の作品展やデザインコンクール、はた織りの実演や体験、着付け体験、紬問屋の一般開放など、結城紬に関するものはすべてイベントとして行われ、また、伝統工芸品の桐下駄、桐たんすの見本市も行います。 さらに、特別企画として、結城家 18 代結城秀康(徳川家康の二男)を中心にした武者行列や「よきこい」などの仮装パレードが練り上げられます。</p>			
<p>名称: 結城市伝統工芸館</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 場所 結城市小塚 3018-1 ■ 問い合わせ先の電話番号 0296-32-7949 ■ 料金 無料 <p>工芸品には古く中世より継承されてきた結城紬をはじめ桐箆笄、桐下駄、干瓢、桐工芸品、繭工芸、落花生、地酒、うどん等数多くの結城特産品が展示され希望によっては販売も行っています。 (開館時間/3月～10月 9:00～17:00, 11月～2月 9:00～16:00) (休館日/月曜日)</p>			

結城市

名称: 紬の里

- 場所 結城市本町 2515
 - 問い合わせ先の電話番号 0296-32-8002
 - 料金 体験料 はた織りコースター(2枚1組)1,500円～, 藍染めハンカチ 1,000円～
はた織りや藍染めの体験のほか, 結城紬の製作工程のビデオや反物などが見られる工房です。
はた織りでは, 自分の好きな色の糸を選び, コースターやテーブルセンターなどを制作。藍染めならローケツ染めや糸絞りにも気軽に挑戦できます。
- (開館時間/9:30～17:00 土・日は10:00～)
(休館日/無休)

名称: 手作り工房 里

- 場所 結城市浦町 94
 - 問い合わせ先の電話番号 0296-33-3304
 - 料金 体験料 藍染め・草木染めハンカチ 1,000円～
徳島産の藍を使った藍染めの体験のほか, 新潟の契約農家から送られてくるチューリップの花びらやアカネ, マリーゴールド, ツバキ, イチジク, アンズ, 桜, シンなどを染料にした草木染めの体験ができます。
- (開館時間/9:30～17:00)
(休館日/日曜日)

名称: 本場結城紬染織資料館「手緒里」

- 場所 結城市大町 12
 - 問い合わせ先の電話番号 0296-33-3111
 - 料金 大人 200円, 子供 100円
日本最古の歴史を持つ結城紬。館内では, 結城紬が歩んできた道を写真やパネル, 古文書により紹介しています。さらに, 実際に使用された道具類が展示されているとともに, はた織りの実演を見学することができます。
- (開館時間/9:00～16:00)
(休館日/火曜日)